

介護老人保健施設とはリハビリをして ADL(日常生活動作)の向上を目指し、在宅復帰を促す施設です。しかしながら高齢化社会の波を受け、昨今の老健では入浴介助が必要な方も増えています。

介護業界の諸事情を踏まえましてこの度、5階浴室の改装を行いました。

この浴槽は「ひとりで歩けるけどまたぐことが苦手」

「バランスがとりにくい方」

「入浴中の姿勢が取りにくい方」

を対象にした ADL 入浴機というものです。

同時に手すり、壁面、照明を改装し暖気を取る設備も導入しています。



医師、看護師、リハビリ、介護スタッフの意見を取り入れようやく完成となりました。全スタッフ研修を行い、2月から稼働予定です。



こちらのチェアはシャワーキャリーというもので安全、安心はもとより、介助者の負担軽減に繋がります。6階までの全館に入れる予定となっています。

これからも「ひとりざわ」は利用者様、スタッフの事を第一に考え、新しい設備を導入していきます。ご家族のご理解のほど、よろしくお願い致します。

介護老人保健施設ひとりざわ スタッフ 一同